

<様式6>

畜産試験場試験・研究課題事後評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名： 未利用資源の飼料化技術

小課題名： ブドウ粕を利用した豚の肉質改善技術

細目課題名：

担当者名： 片山 努

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	5 / 5	県独自の高品質豚肉生産技術の確立に向け、目標としたブドウ粕を利用した豚の肉質改善効果を明らかにするという点は達成されている。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	5 / 5	ブドウ粕の利用形状の影響及び肉質改善効果を明らかにしたことは、成果としてたいへん評価できる。特に利用に向けた問題点とその解決方法を示しており、有用性が高い成果である。
3 研究の発展性	5 / 5	県独自の高品質豚肉生産技術の確立に向けた研究に発展すると期待される。なおブドウ粕の利用形状の問題解決には、専門の機械メーカーや研究機関との連携による対応が望ましい。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	県独自の高品質豚肉生産技術の確立に向け、ブドウ粕にも着目しており、山梨のブランド化にもつながる研究であり妥当と評価。
総合評価	5 / 5	課題選定から研究の内容、成果とも評価できる研究である。早期の実用化に向けた研究を期待する。また今回の成果を論文化することで学術研究としての評価も受けてみてもよいと思う。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

山梨県独自の高品質豚肉生産技術の確立にむけて、ブドウ粕の安定的利用を可能とする機械メーカー等と連携して、実用化のための研究を実施していきたい。

<様式6>

畜産試験場試験・研究課題事後評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名： 鶏の飼養管理技術の改善

小課題名： 採卵鶏における効率的休産処理に関する研究

細目課題名：

担当者名： 船井 咲知

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	4 / 5	絶食によらない換羽誘導による休産処理の効果を検討するという目標は達成されているが、生産性についての検討は十分でない。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	4 / 5	休産効果の評価や処理週齢が生産現場と差があり、また産卵再開後の調査期間が短く、経済性、生産性の評価が十分でない点がある。
3 研究の発展性	4 / 5	国のアニマルウェルフェアへの対応方針によっては、今回の成果をふまえた新たな手法確立に向けた研究へつながる可能性がある。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	農家の視点で省力、簡易な換羽誘導をめざした研究であり、かつアニマルウェルフェアへの対応も考慮した先駆的取り組みで妥当と評価。
総合評価	4 / 5	簡易な換羽誘導をめざした研究で評価できる。しかし成果の有用性という点では生産性の評価が不十分であった。実験計画をしっかりと研究することで、より有用な成果が期待できたと思うので、今後に生かしてほしい。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

休産処理における目標は達成したが、農家レベルで普及するための検討について不十分なところがあったことから、海外や他県の文献等をもとに、普及レベルでの検討を行っていききたい。

<様式6>

畜産試験場試験・研究課題事後評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名： 畜産物の品質改善

小課題名： 目根期賦活化物質等を利用した高品質ブロイラーの生産技術

細目課題名：

担当者名： 松下 浩一

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	5 / 5	目標とした無薬飼料化に有用な情報が得られており、達成度は高いと評価。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	5 / 5	無薬飼料化に有用な情報が得られており、また論文化で学術的評価も受けていることから、成果の有用性は高い。
3 研究の発展性	5 / 5	無薬飼料化に有用な情報が得られているので、県独自の安全安心な肉用鶏生産に向けた実用技術を確立する研究への発展が期待される。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	食の安全に対する関心が高まっている中、安全安心な肉用鶏生産技術を目指した研究であり、妥当性は高い。
総合評価	5 / 5	食の安全に対する関心が高まっている中、無薬飼料化の面から、安全安心な肉用鶏生産技術を目指した研究で、発展性も期待できる成果を上げており、評価できる研究である。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

本課題の成果をもとに、肉用鶏の新しい生産方法として普及していくとともに、今回明らかになった問題点を解決すべく、今後さらに細分化した試験を行っていききたい。